

# 2020年12月期 第2四半期 プレゼンテーション

ルネサス エレクトロニクス株式会社  
2020年7月30日

# 2020年 第2四半期 決算説明資料

経営者が意思決定する際に使用する指標 (以下Non-GAAPベース) を資料上開示しております。  
Non-GAAP連結業績は、財務会計上の数値 (GAAP : IFRS基準) から非経常項目や  
その他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもので、  
当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。

当社は、通期の業績予想に代えて、翌四半期累計期間の業績予想を開示しております。

# 注意事項

---

- **IFRS適用**：今後もグローバルな事業展開を推進していくことを踏まえ、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上を目的に、2018年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用しております。
- **業績予想の開示方法**：2019年12月第1四半期の業績予想から、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更することに加え、当社グループの恒常的な経営成績の理解に有用な情報を提供するために、財務会計上の数値(GAAP)から企業買収などに関係した非経常項目やその他特定の調整項目を一過性の利益や損失として一定のルールに基づいて控除もしくは調整した「Non-GAAPベース」にて売上収益・売上総利益率・営業利益率を開示することといたしました。なお、売上総利益率および営業利益率は、売上収益予想の中間値により算出しております。
- **セグメント開示**：当社グループは、半導体専業メーカーであります。その事業を分類してより適切に経営情報の開示を行うため、2019年12月期第3四半期より「自動車向け事業」および「産業・インフラ・IoT向け事業」を報告セグメントとしてのセグメント別の開示を行っております。
- **費用計上区分の変更**：当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

# 2020年12月期 第2四半期 決算概要

## IFRS、NON-GAAP<sup>\*1\*2</sup>

売上収益の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2019年12月期		2020年12月期								
	第2四半期 (4-6月)	上期 (1-6月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月) 予想	第2四半期 (4-6月) 実績	前年同期比	前四半期比	予想比 <sup>*3</sup> (5/29時点)	上期 (1-6月) 実績	前年同期比	予想比 <sup>*3</sup> (5/29時点)
売上収益	1,926	3,429	1,787	1,525 ~1,605	<b>1,667</b>	-13.5%	-6.8%	+6.5%	<b>3,454</b>	+0.7%	+3.0%
売上総利益率	43.6%	41.2%	47.3%	46.5%	<b>47.5%</b>	+3.9pts	+0.3pt	+1.0pt	<b>47.4%</b>	+6.2pts	+0.5pt
営業損益 (率)	272 (14.1%)	342 (10.0%)	337 (18.8%)	219 (14.0%)	<b>302</b> <b>(18.1%)</b>	+31 (+4.0pts)	-34 (-0.7pt)	+83 (+4.1pts)	<b>639</b> <b>(18.5%)</b>	+296 (+8.5pts)	+83 (+1.9pts)
親会社の所有者に 帰属する当期損益	256	322	299	-	<b>237</b>	-19	-62	-	<b>536</b>	+215	-
EBITDA <sup>*4</sup>	530	852	576	-	<b>508</b>	-21	-68	-	<b>1,085</b>	+233	-
1米ドル=	111円	111円	110円	108円	<b>108円</b>	3円 円高	2円 円高	0円 円安	<b>109円</b>	2円 円高	0円 円安
1ユーロ=	125円	125円	121円	118円	<b>118円</b>	7円 円高	3円 円高	0円 円安	<b>119円</b>	6円 円高	0円 円安

\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

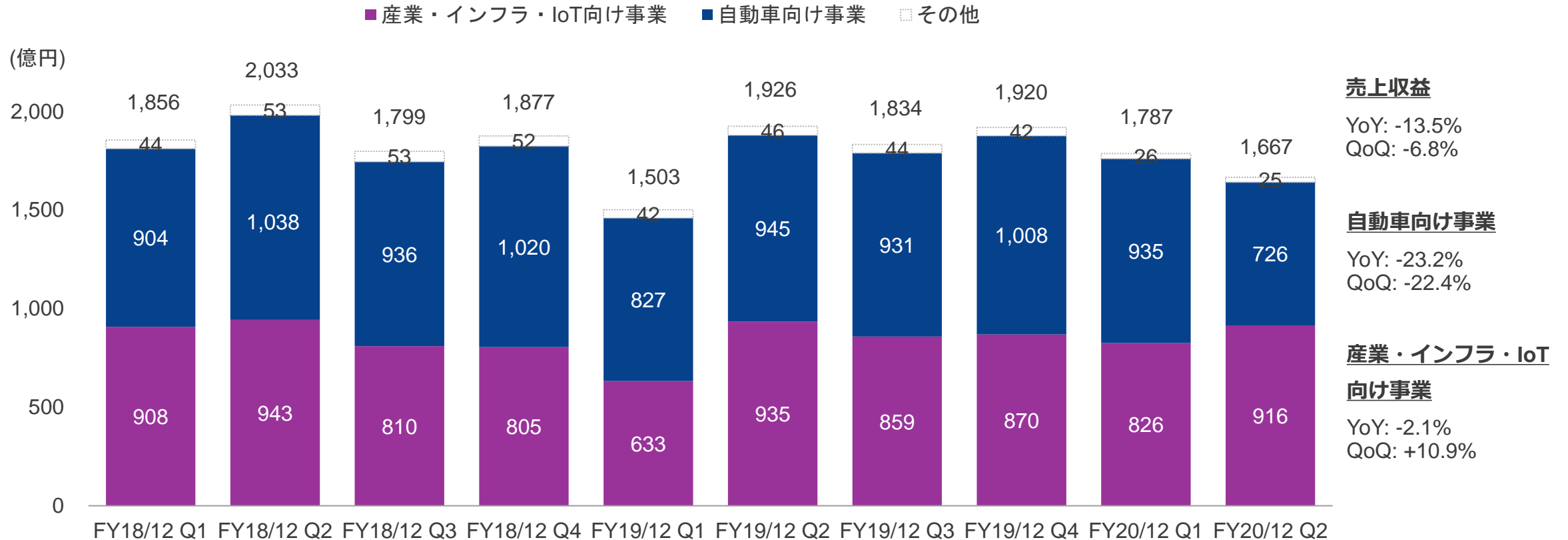
\*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

\*3: 各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

\*4: 営業損益+減価償却費及び償却費

# 売上収益 四半期推移

## IFRS、NON-GAAP\*1\*2



\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

\*2: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

# 2020年12月期 第2四半期 売上総利益率・営業利益率

IFRS、NON-GAAP<sup>\*1\*2</sup>

	2020年12月期 第1四半期 実績 (2020年1-3月)	2020年12月期 第2四半期 予想 (2020年4-6月)	2020年12月期 第2四半期 実績 (2020年4-6月)
売上総利益率 QoQ: +0.3pt 予想比: +1.0pt	47.3%	46.5%	47.5%
営業利益率 QoQ: -0.7pt 予想比: +4.1pts	18.8%	14.0%	18.1%

営業利益率 予想比 +4.1pts

- ↑ 売上総利益率
- ↑ 製品ミックス
- 生産回収
- ↑ 製造費用等
- ↑ 営業費用

営業利益率 QoQ -0.7pt

- ↑ 売上総利益率
- ↑ 製品ミックス
- ↓ 生産回収
- ↓ 製造費用等
- ↑ 営業費用

\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

\*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

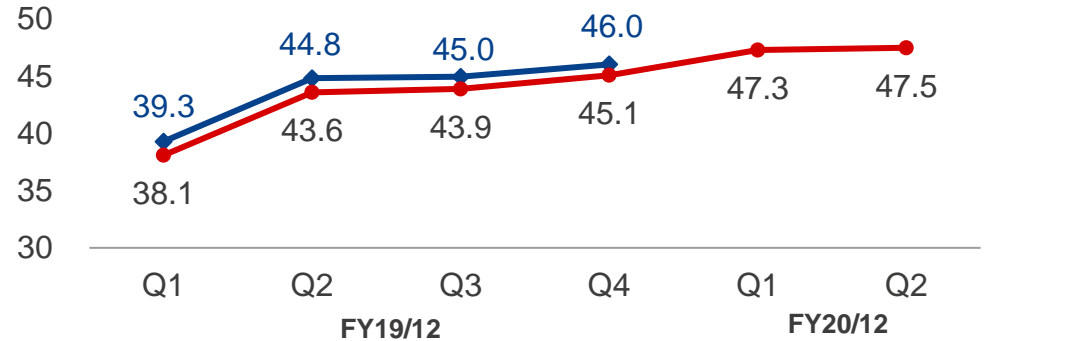


# 売上総利益率・営業利益率・OPEX推移

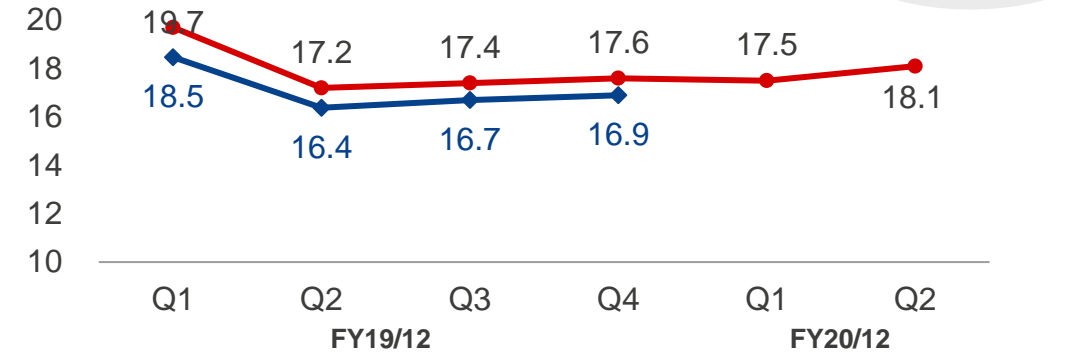
IFRS、NON-GAAP<sup>\*1\*2</sup>

費用計上区分変更前  
費用計上区分変更後

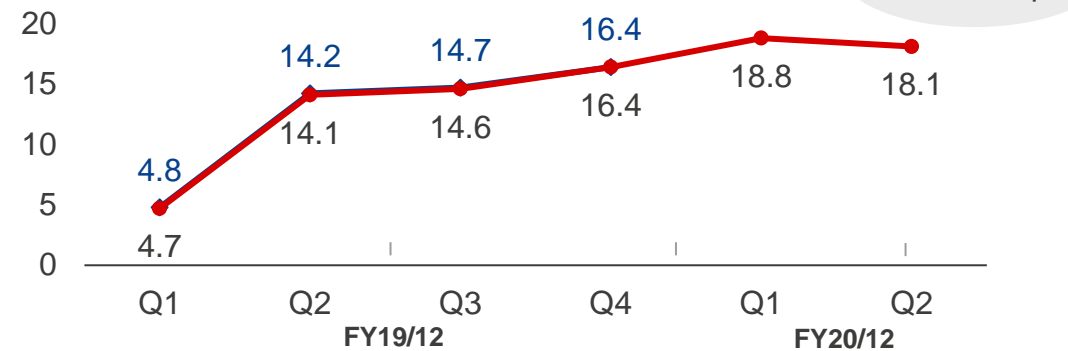
## 売上総利益率 (%)



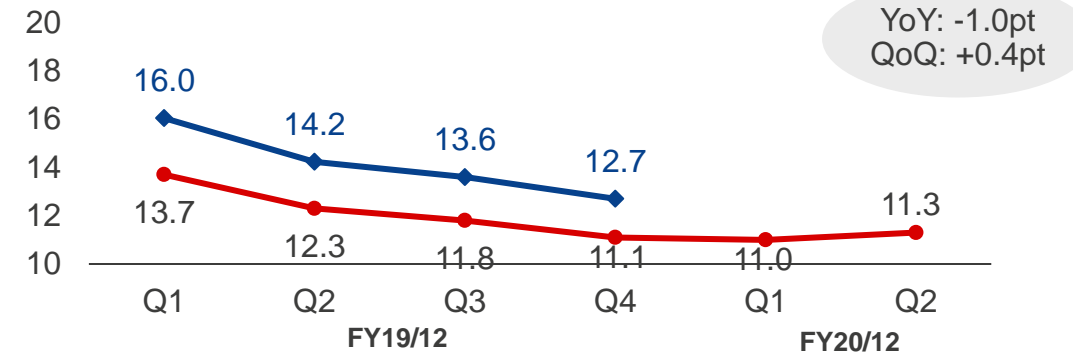
## R&D売上比率 (%)



## 営業利益率 (%)



## SG&A・その他売上比率 (%)

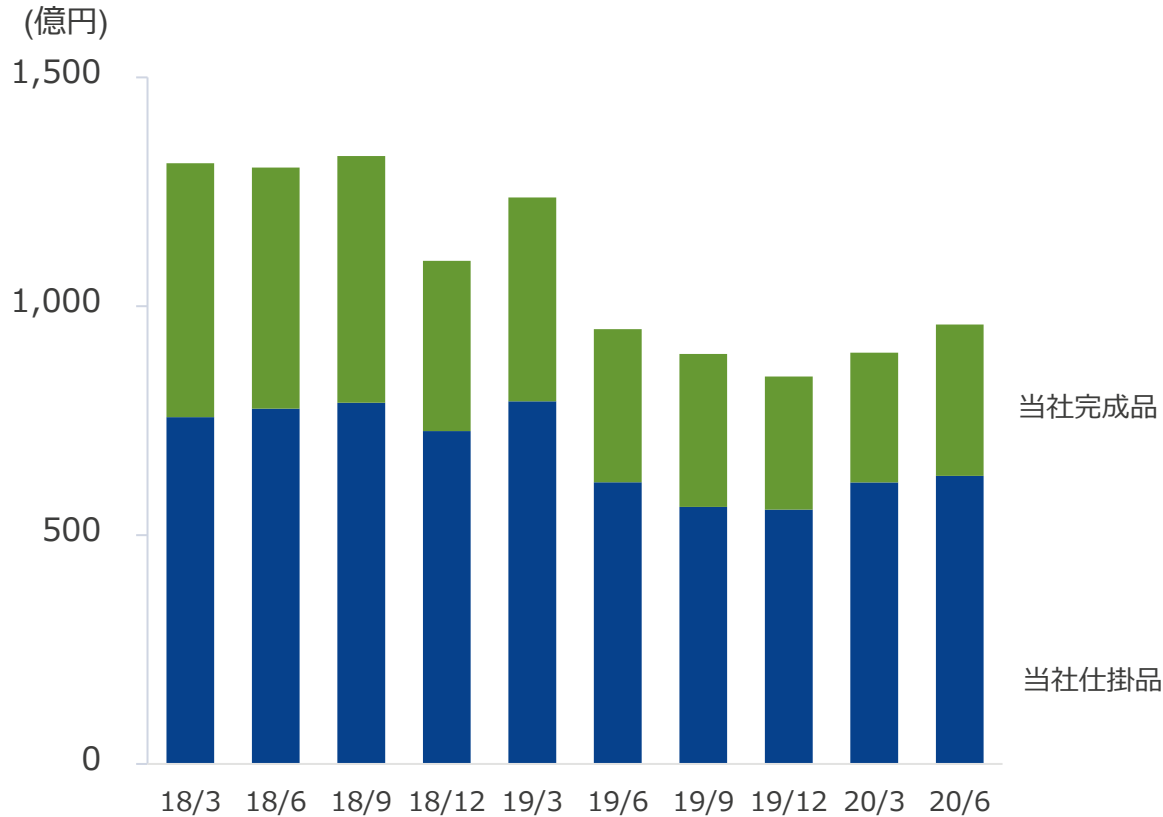


\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

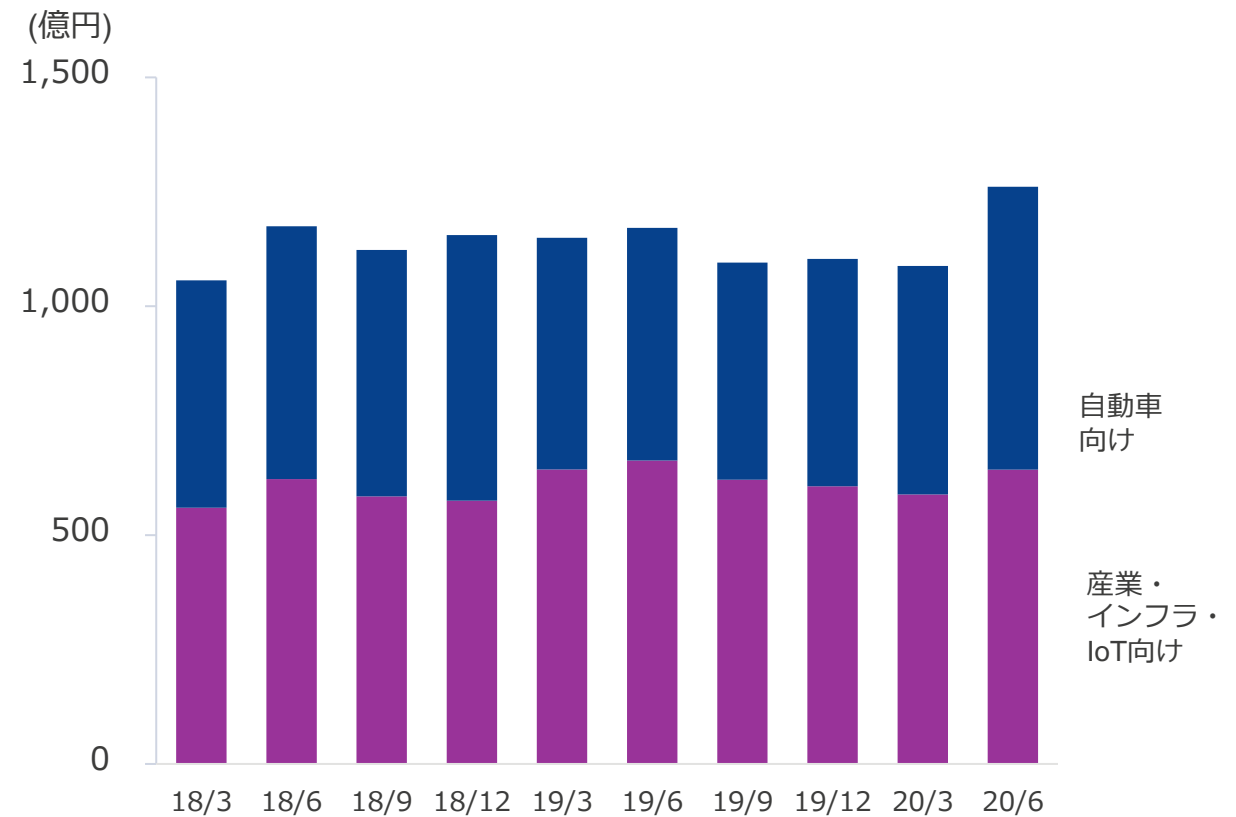
\*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

# 在庫状況\*1

## 当社在庫\*2 (決算ベース)



## 販売チャネル在庫\*3 (管理ベース)



\*1: 2019年12月期第1四半期からはIDT連結後の数値となります。

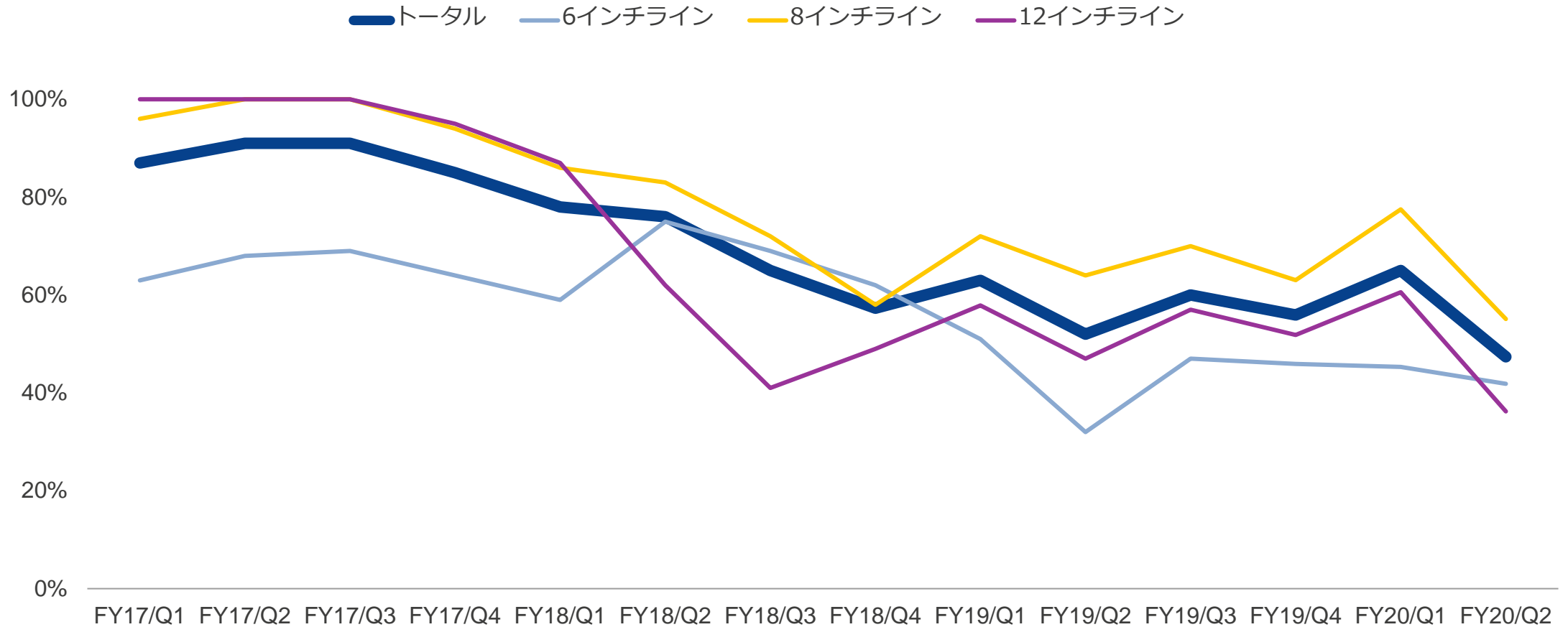
\*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

\*3: 日系顧客向けの特約店16社と海外のディストリビューター（旧インターシル、旧IDT分含む）の在庫総量



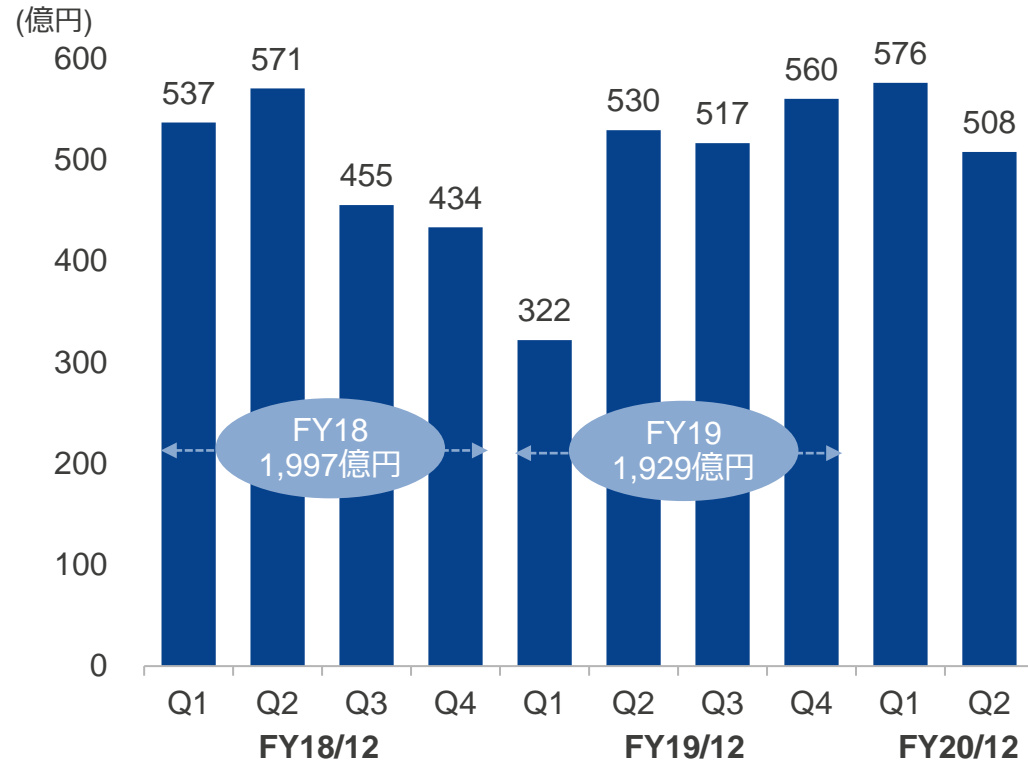
# 前工程稼働率四半期推移

## ウェハ投入量ベース

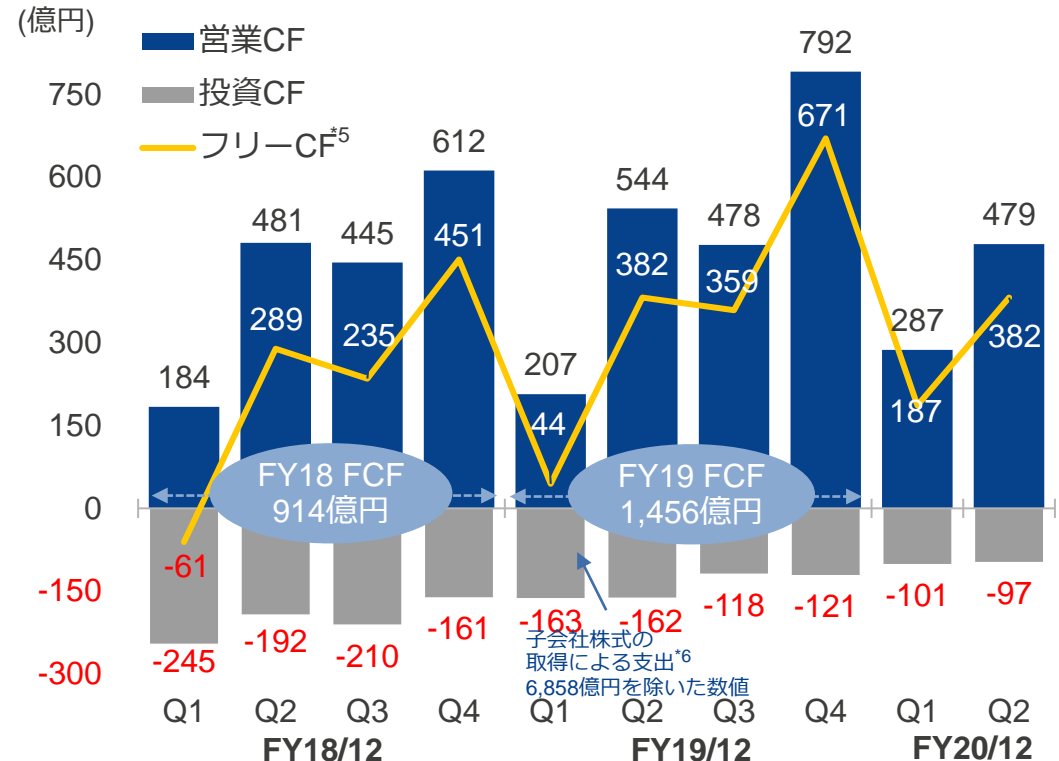


# NON-GAAP\*1 EBITDA \*2\*3 およびGAAP\*4キャッシュ・フローの状況

## Non-GAAP EBITDA



## GAAP キャッシュ・フロー



\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

\*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

\*3: 営業利益+減価償却費及び償却費

\*4: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

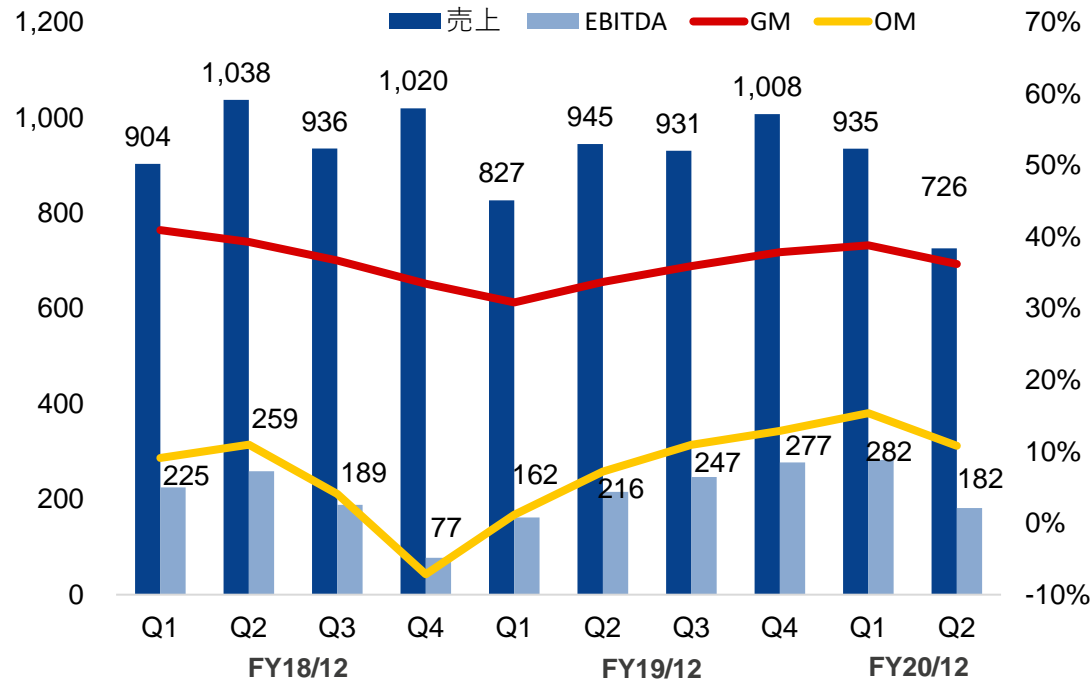
\*5: 営業キャッシュフロー+投資キャッシュフロー \*6: IDT株式の取得にかかる支出

# セグメント別の売上収益・利益・EBITDA\*1四半期推移

IFRS、NON-GAAP\*2\*3\*4

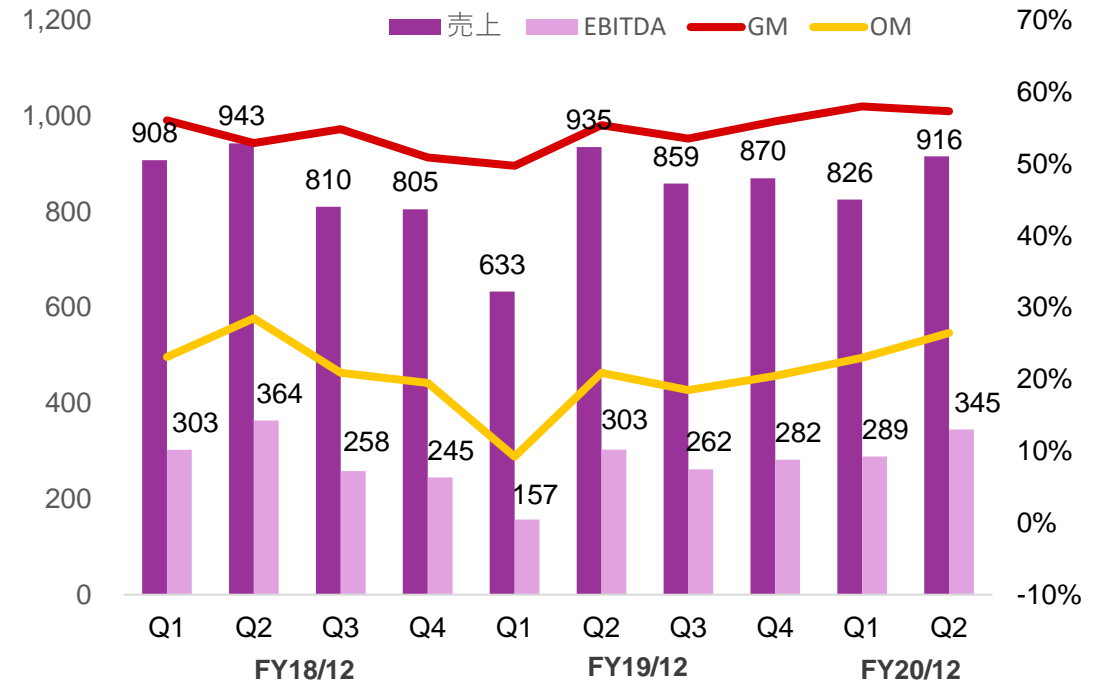
## 自動車向け事業

(億円)



## 産業・インフラ・IoT向け事業

(億円)



\*1: 営業損益+減価償却費及び償却費

\*2: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

\*3: 2019年12月期第1四半期から当社の監査人は交代しており、IFRSに基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表につきましては、前任監査人による四半期レビューの対象となっております。

ただし、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づき作成された2018年12月期各四半期の連結財務諸表については、前任監査人によって四半期レビューが実施されております。

\*4: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

# 2020年12月期 第3四半期予想

## IFRS、NON-GAAP<sup>\*1\*2</sup>

売上収益の前年同期比、前四半期比、予想比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2019年12月期		2020年12月期					
	第3四半期 (7-9月)	9か月累計 (1-9月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月) 予想	前年同期比	前四半期比	9か月累計 (1-9月) 予想	前年同期比
売上収益	1,834	5,262	1,667	1,630 ~1,710	-11.1% ~-6.7%	-2.2% ~+2.6%	5,084 ~5,164	-3.4% ~-1.9%
売上総利益率 <sup>*3</sup>	43.9%	42.1%	47.5%	45.5%	+1.6pts	-2.0pts	46.8%	+4.7pts
営業利益率 <sup>*3</sup>	14.6%	11.6%	18.1%	14.5%	-0.1pt	-3.6pts	17.2%	+5.6pts
1米ドル=	108円	110円	108円	106円	2円 円高	2円 円高	108円	2円 円高
1ユーロ=	121円	124円	118円	118円	3円 円高	0円 円安	119円	5円 円高

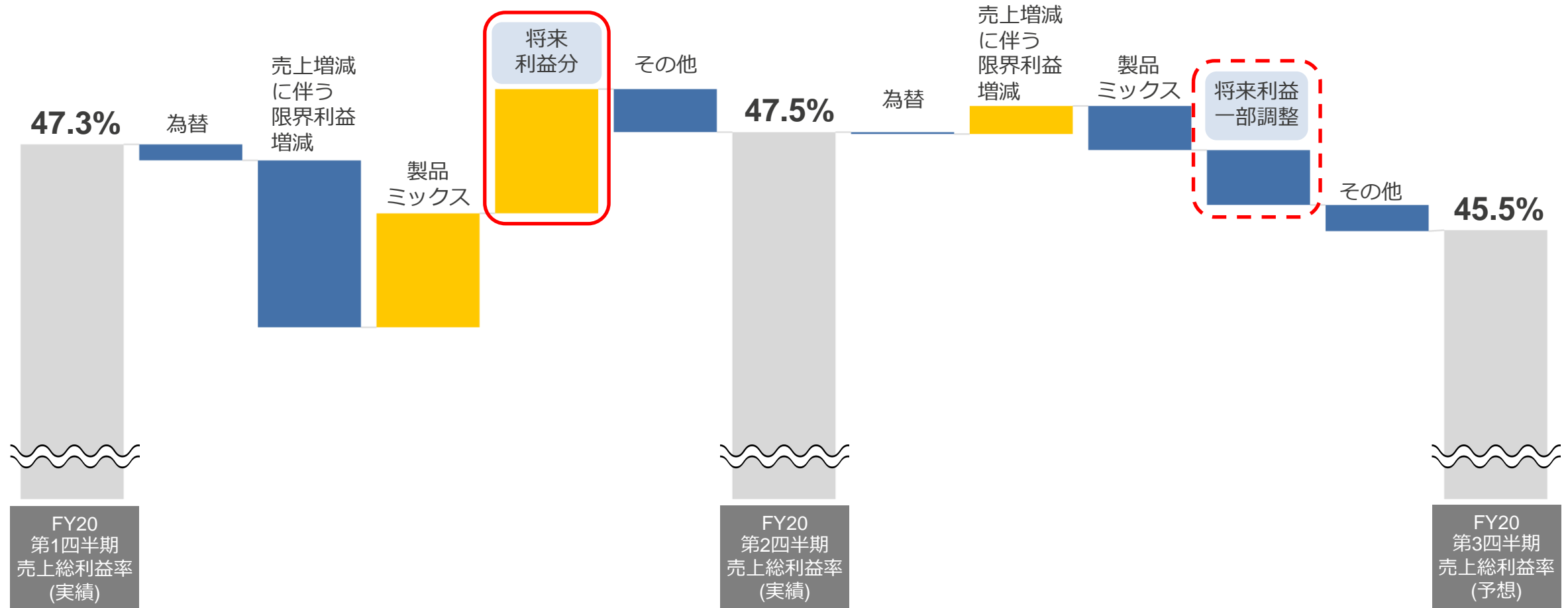
\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

\*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

\*3:各数値は売上収益予想レンジの中央値との対比

# 2020年12月期 第2四半期・第3四半期売上総利益率の増減

IFRS、NON-GAAP\*1



\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

# APPENDIX

本パートでは、セグメント情報やGAAP (IFRS基準) 準拠の財務報告ベースの数値を補足情報として掲載しています。

# セグメント別の売上収益および営業利益

NON-GAAP\*1\*2

(億円)	2019年12月期					2020年12月期			
	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	第3四半期 (7-9月)	第4四半期 (10-12月)	通期 (1-12月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	前年同期比	前四半期比
売上収益	1,503	1,926	1,834	1,920	7,182	1,787	1,667	-13.5%	-6.8%
自動車	827	945	931	1,008	3,711	935	726	-23.2%	-22.4%
産業・インフラ・IoT	633	935	859	870	3,297	826	916	-2.1%	10.9%
その他	42	46	44	42	174	26	25	-45.8%	-6.1%
営業損益 (率)	71 (4.7%)	272 (14.1%)	268 (14.6%)	314 (16.4%)	925 (12.9%)	337 (18.8%)	302 (18.1%)	+31 (+4.0pts)	-34 (-0.7pt)
自動車	10 (1.2%)	68 (7.2%)	102 (10.9%)	130 (12.9%)	310 (8.3%)	144 (15.4%)	79 (10.8%)	+10 (+3.6pts)	-65 (-4.6pts)
産業・インフラ・IoT	58 (9.2%)	196 (20.9%)	159 (18.5%)	178 (20.5%)	591 (17.9%)	190 (23.0%)	242 (26.5%)	+47 (+5.5pts)	+53 (+3.5pts)
その他	3 (6.5%)	3 (6.4%)	8 (18.3%)	-3 (-7.6%)	10 (6.0%)	3 (11.4%)	4 (17.7%)	+1 (+11.4pts)	+1 (+6.3pts)
調整額*3	-	5	-	9	14	-	-23	-28	-23

\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

\*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

\*3: 非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したもののうち、報告セグメントに振り分けております。



# GAAP (IFRS) とNON-GAAP間の調整項目

## 2019年12月期以降

- Non-GAAPベース：Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。
- PPA (取得原価の配分) の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれています。
- 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

(億円)	2019年12月期				2020年12月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
売上収益 (PPA調整後)	1,503	1,926	1,834	1,920	1,787	1,667
PPA影響 (売上収益)	-	-	-	-	-	-
売上収益 (Non-GAAP)	1,503	1,926	1,834	1,920	1,787	1,667
売上総利益 (GAAP/PPA後)	554	731	795	867	823	791
PPA影響 (固定資産償却:COGS <sup>*1</sup> )	+3	+4	+4	+5	+6	+3
PPA影響 (無形資産償却:COGS)	-	-	-	-	-	-
PPA影響 (棚卸資産の時価評価: COGS)	-	+113	-	-	-	-
PPA影響 (その他: COGS)	-	+2	-	-	-	-
株式報酬費用 (COGS)	+2	+1	+2	+3	+3	+1
その他調整項目 <sup>*2</sup> (COGS)	+13	-5	+2	-11	+13	-4
その他非経常項目 <sup>*3</sup> (COGS)	-	-8	+0	-	-	+1
売上総利益 (Non-GAAP)	572	839	804	865	845	792
売上総利益率 (Non-GAAP) (%)	38.1%	43.6%	43.9%	45.1%	47.3%	47.5%

\*1: 売上原価    \*2: 期間費用を平準化するための調整項目 (税金等) が含まれております。    \*3: 一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

# GAAP (IFRS) とNON-GAAP\*1 間の調整項目

2019年12月期以降\*2

(億円)	2019年12月期				2020年12月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
<b>営業損益 (GAAP/PPA後)</b>	-14	-109	81	104	133	173
売上総利益段階までの調整項目	+19	+108	+9	-2	+22	+1
PPA影響*3 (無形資産償却 : SG & A*4)	+38	+142	+138	+139	+142	+132
PPA影響 (固定資産償却 : R&D*5)	+1	+0	+0	+1	+1	+1
PPA影響 (固定資産償却 : SG & A)	+0	+0	+0	+0	+0	+0
PPA影響 (その他 : R&D)	-	+1	-	-	-	-
PPA影響 (その他 : SG & A、その他の費用)	-	+1	-	-	-	-
株式報酬費用 (R&D)	+4	+12	+17	+20	+19	+9
株式報酬費用 (SG&A)	+10	+15	+17	+16	+17	+7
その他の調整項目*6 (R&D)	+1	-0	-0	-0	+1	-0
その他の調整項目 (SG&A)	-7	-9	-2	+18	-4	-6
その他非経常項目*7 (R&D)	-	-8	+0	-	-	+0
その他非経常項目 (SG&A、他)	+20	+119	+9	+18	+6	-15
<b>営業損益 (Non-GAAP)</b>	<b>71</b>	<b>272</b>	<b>268</b>	<b>314</b>	<b>337</b>	<b>302</b>
<b>営業利益率 (Non-GAAP) (%)</b>	<b>4.7%</b>	<b>14.1%</b>	<b>14.6%</b>	<b>16.4%</b>	<b>18.8%</b>	<b>18.1%</b>

\*1 : Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

\*2 : 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

\*3 : PPA (取得原価の配分) の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。

\*4 : 販売費及び一般管理費 \*5 : 研究開発費

\*6 : 期間費用を平準化するための調整項目 (税金等) が含まれております。 \*7 : 買収関連費用や株式売出し費用など、一過性かつ一定規模の利益または損失が含まれております。

# GAAP (IFRS) とNON-GAAP\*1 間の調整項目

2019年12月期以降\*2

(億円)	2019年12月期				2020年12月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
親会社の所有者に帰属する当期損益 (GAAP/PPA*3後)	-19	-91	40	7	113	119
営業損益段階までの調整項目	+85	+380	+188	+210	+204	+130
当期損益調整項目 (Non-GAAP調整による税効果影響等)	-	-33	-5	-2	-17	-12
親会社の所有者に帰属する当期損益 (Non-GAAP)	65	256	224	214	299	237
Non-GAAP EPS*4 (円)	3.9	15.1	13.1	12.5	17.5	13.8

\*1: Non-GAAP業績値は、財務会計上の数値 (GAAP:IFRS基準) から非経常項目やその他の特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものです。当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しており、当社グループはNon-GAAPベースで業績を開示しております。具体的には、企業買収に伴い、認識した無形資産の償却額およびその他のPPA (取得原価の配分) 影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

\*2: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

\*3: PPA (取得原価の配分) の影響額には、棚卸資産や固定資産の時価評価等が含まれております。

\*4: 基本的一株当たり四半期利益

# 2020年12月期 第2四半期 決算概要

GAAP (IFRS)\*1

売上収益の前年同期比、前四半期比は小数点以下第2位を四捨五入

(億円)	2019年12月期		2020年12月期					
	第2四半期 (4-6月)	上期 (1-6月)	第1四半期 (1-3月)	第2四半期 (4-6月)	前年同期比	前四半期比	上期 (1-6月)	前年同期比
売上収益	1,926	3,429	1,787	<b>1,667</b>	-13.5%	-6.8%	<b>3,454</b>	+0.7%
売上総利益率	38.0%	37.5%	46.0%	<b>47.5%</b>	+9.5pts	+1.4pts	<b>46.7%</b>	+9.2pts
営業損益 (率)	-109 (-5.6%)	-122 (-3.6%)	133 (7.4%)	<b>173 (10.4%)</b>	+281 (+16.0pts)	+39 (+2.9pts)	<b>306 (8.8%)</b>	+428 (+12.4pts)
親会社の所有者に帰属する当期損益	-91	-110	113	<b>119</b>	+210	+6	<b>232</b>	+342
EBITDA*2	296	575	521	<b>516</b>	+220	-5	<b>1,037</b>	+462
1米ドル=	111円	111円	110円	<b>108円</b>	3円 円高	2円 円高	<b>109円</b>	2円 円高
1ユーロ=	125円	125円	121円	<b>118円</b>	7円 円高	3円 円高	<b>119円</b>	6円 円高

\*1: 当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

\*2: 営業利益+減価償却費及び償却費

# バランスシートの状況

GAAP (IFRS)\*1

(億円)	2019年 3月末	2019年 6月末	2019年 9月末	2019年 12月末	2020年 3月末	2020年 6月末
<b>総資産</b>	18,767	16,979	16,663	16,681	16,578	<b>16,345</b>
うち 現金及び現金同等物*2	1,967	1,165	1,243	1,465	1,369	<b>1,485</b>
うち たな卸資産	1,297	1,008	955	908	957	<b>1,018</b>
うち のれん	6,332	6,149	6,157	6,250	6,209	<b>6,146</b>
うち 無形資産	4,780	4,458	4,277	4,146	4,303	<b>4,098</b>
<b>負債合計</b>	12,375	11,054	10,681	10,437	10,305	<b>10,051</b>
うち 有利子負債*3	9,653	8,527	8,288	7,859	7,642	<b>7,402</b>
<b>資本合計</b>	6,391	5,924	5,982	6,244	6,273	<b>6,294</b>
<b>D/Eレシオ (グロス)*4</b>	1.52	1.45	1.39	1.26	1.22	<b>1.18</b>
<b>D/Eレシオ (ネット)*5</b>	1.21	1.25	1.18	1.03	1.00	<b>0.94</b>
<b>自己資本*6比率</b>	33.9%	34.7%	35.7%	37.3%	37.7%	<b>38.3%</b>

\*1:当社は、IDT社の買収およびその後のIDT社によるルネサスエレクトロニクス・アメリカ社の吸収合併を経て「One Renesas」に向け2020年1月1日以降、事業プロセスやITシステムなどの統合に着手したことを契機とし、当社グループの財政状態や経営成績をより適切に表示するために、費用計上区分の見直しを実施いたしました。当該会計方針の変更は遡及適用され、前連結会計年度については、遡及適用後の連結財務諸表となっております。

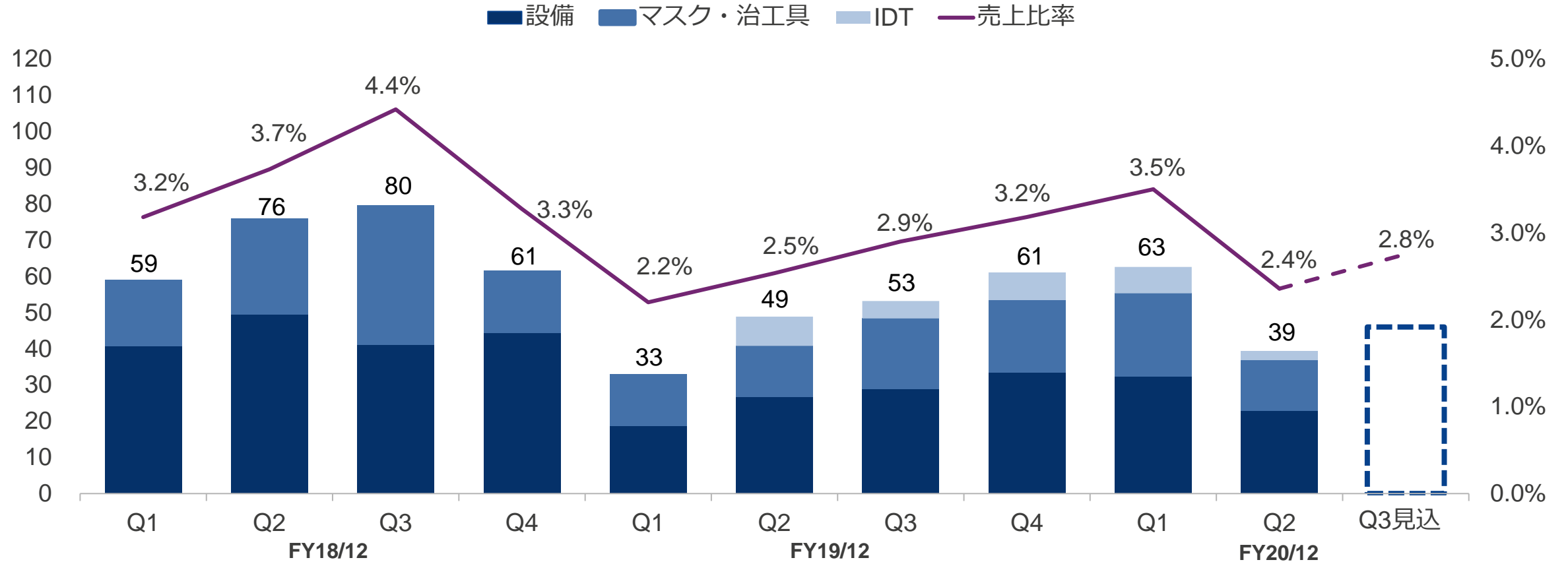
\*2: 手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期的な投資から構成されております。

\*3: 借入金 (流動負債) + 借入金 (非流動負債) + リース負債 (流動負債) + リース負債 (非流動負債) + 社債の合計

\*4: 有利子負債 / 自己資本 \*5: (有利子負債 - 現金及び現金同等物) / 自己資本 \*6: 自己資本 (親会社の所有者に帰属する持分合計) / 負債及び資本合計

# 設備投資額の状況\*1\*2\*3

(億円)



\*1: 有形固定資産および無形資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。

\*2: 2020年12月期第1四半期より、IDT投資分およびマスク・治工具固定資産を含めた投資金額を表記しております。

\*3: 過年度分についても上記定義に揃えた金額を表記しております。但し、IDT投資分は設備納入ベースの金額としております。



# COVID-19対策へのルネサスの貢献

COVID-19等の様々な困難下においても、持続可能なニューノーマル（新しい日常）に向けて、ルネサスはソリューションの開発に注力し、提案します。



## Lidarシステム向けソリューション

LeddarTechのLeddar Pixellに使用されています。道路利用弱者の安全と保護を目的としており、障害物を高精度に検出することができるため、周辺認識のプラットフォームに最適です。



## 車両内HVACシステム

暖房、換気、空調システムは、CAN/LIN対応マイコンを豊富にラインアップし、さらに、各種モータユニットに最適なアナログ、パワーデバイスも幅広く提供します。



## 無人搬送車向けソリューション

COVID-19以降の新しい社会に向けて、無人搬送車が人と人との接触を減らすためのソリューションとして期待されています。



## e-BIKEシステム

電子ロックやバッテリー管理ソリューションなど、高い信頼性と革新的な機能を備えた完結したソリューションを提供しています。



## セルラー基地局ソリューション (5G)

クラウドを介して送信されるデータやビデオの量が増加することに対応するため、最先端のアナログ、パワー、およびミックスドシグナルRF製品を提供します。



## エンタープライズサーバ

高い処理能力と特殊なタイミング揺らぎ対応、幅広い電源製品のポートフォリオをもって、最新エンタープライズサーバシステムのニーズに応えます。



## 空気質管理ソリューション

屋外の大気室汚染センサだけでなく、家庭やオフィス、工場など、室内の気質を感知し、測定および向上させる機器のためのリファレンスデザインを提案しています。

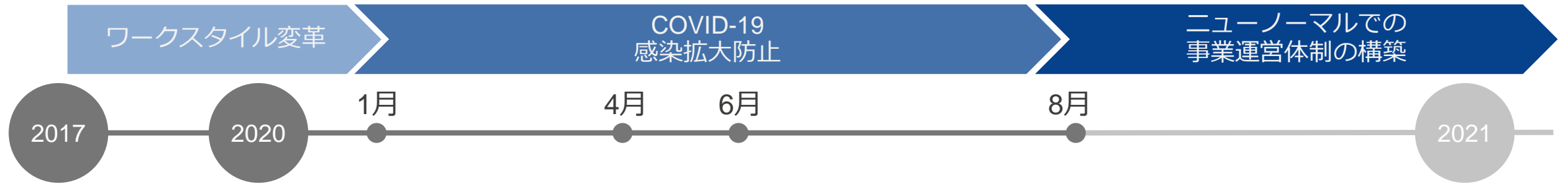


## 入退室検出器

入退室検出器向けに、正確で広範な距離測定を実現するToF ICとマイコンの組み合わせを提案しています。



# COVID-19感染拡大防止・ニューノーマルに向けた取り組み



## 在宅勤務制度

- **制度導入**  
週2日、一部社員に限定
- **拡大運用**  
日数制限を廃止、全間接員へ拡大
- **原則化** ● **推奨化**
- **人事制度を改定**  
在宅勤務を基本とし、制限のない在宅勤務が選択可能に
- **オフィススペース・ロケーションの最適化**



## COVID-19 感染拡大防止

- 従業員の健康および感染拡大防止の観点から1日/週を基準にシフト休業制を導入
- オンラインメディカルサポートの導入

## 従業員の自由参加型ストックオプション

- 従業員に、会社の更なる流動性確保を支援する機会を提供

# 2020年12月期第2四半期の主な広報発表

## マイコン関連

- 産業オートメーション機器向け32ビットRXマイコン「RX72N」、「RX66N」を発売、機器の制御+ネットワーク機能を実現する製品群のポートフォリオを拡充
- Arm Cortex-M搭載32ビットマイコンRAファミリに対応したフレキシブル・ソフトウェア・パッケージのメジャーアップデート版をリリース
- Bluetooth 5に対応したArm Cortex-M搭載の32ビットRAマイコン「RA4W1」を発売

## アナログ&パワー関連

- 産業、医療、IoT機器等の幅広いセンサ用途に向け、先進的なセンサシグナルコンディショナIC「ZSSC3240」を発売
- データセンターやサーバ機器に向けて、新たなI3Cバス拡張製品として、I3CマルチプレクサとI/Oエキスパンダを発売
- 産業用モータ制御に革新をもたらす角度センサとして、高精度なインダクティブポジションセンサ用IC「IPS2200」を発売
- 産業用モータ駆動に向けて、堅牢で高性能な100V耐圧のハーフブリッジMOSFETドライバIC「HIP2211」、「HIP2210」を発売

## SoC関連

- 組み込み機器のリアルタイムなAI処理と低消費電力を両立する、ビジョン向けAIアクセラレータ内蔵マイクロプロセッサ「RZ/Vシリーズ」を発表



---

## Renesas.com

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略及び業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1) ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2) 市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4) 為替レート (特に米ドルと円との為替レート) の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。